

世界遺産の島，屋久島の名瀑と溪谷

<七山 太¹⁾・中川正二郎²⁾>

世界遺産に指定された島である屋久島は、急峻な地形をしており、かつ降雨量が多い為に、多数の滝が観察できる。本稿では、その中でも島内で見られる本邦屈指の名瀑と溪谷を読者にご紹介したい。これら屋久島の滝を含めた河川形状は、中期中新世に日向層群に貫入した屋久島花崗岩および中期更新世以降に島の東部が隆起して生じた急峻な地形とによって規定されていることが、従来の研究からよく知られている。



第1図 屋久島中央部にある千尋^{せんびろ}の滝の全容。落差は60mある。屋久島南東部のモッコヨム岳東側の斜面に広がる巨大な花崗岩の岩盤の上を流下しており、そのスケールの大きさを千人が手を結んだくらい大きいとの例えから命名された。



第2図 屋久島南西端、大川の滝の全容。日本の滝百選に選定されている名瀑である。落差は88mある。日向層群の堆積岩が花崗岩の貫入により熱変成してできた堅固なホルンフェルス^{ホルンフェルス}の斜面を滝が流れ落ちる様はまさに絶景である。

1) 産総研 地質情報研究部門
2) 屋久島地学同好会

NANAYAMA Futoshi and NAKAGAWA Shojiro (2015) Valleys and famous waterfalls in the world heritage, Yakushima Island.



第3図 屋久島北部にある白谷雲水峡の全容。宮之浦川の支流、白谷川の上流に位置する。古くから景勝地として知られており、スタジオジブリの宮崎駿監督が何度も足を運び、映画「もののけ姫」の森のイメージをつくりあげたことで一躍有名になった。花崗岩の節理を流れ落ちる流水は、至るところで見事なナメ滝やゴルジュを作っている。楠川歩道は、江戸時代に屋久杉を切り出すために、花崗岩の転石を組んで設けられた由緒ある山道であり、現在も登山道として活用されている。また、周囲には弥生杉など樹齢数百年の巨木が点在する。



第4図 屋久島北西部にある横河溪谷。永田集落から沢奥に鎮座する九州第二位の永田岳を望む（左）。溪谷の河床は直径数 m オーダーの花崗岩ボールドー（大玉石）が散在するゴロ口帯であり、ステップ&プール（礫段）も頻繁に見られる。透明感溢れる永田川の清流の周辺には手つかずの自然が残っており、地元民の憩いの場になっている。